

名所・史跡

～中山道の歴史を感じる～

中山道は、江戸幕府が江戸を中心とした政治・軍事上の必要から整備した、五街道の1つです。中山道は、江戸の日本橋から京都の三条大橋まで、距離が135里(約530km)あり、宿場数は六十九次あります。

瑞穂市には江戸から数えて55番目の美江寺宿のほか、中山道に関する史跡があります。

中山道55番目の宿場

1 中山道美江寺宿跡



「中山道美江寺宿跡」碑が設置してある美江神社。

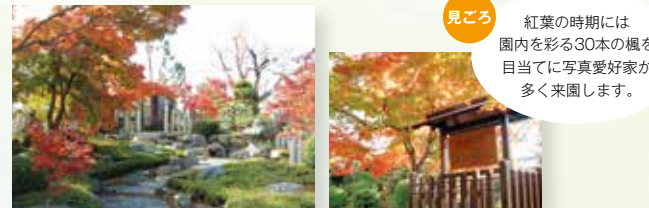
美江寺宿は、枳形であるL字(現在はT字路)の街道の面影が残る小規模な宿場です。ここには奈良時代、養老年中に建立された美江寺(美江寺観音)がありました。しかし、戦国時代に斎藤道三によって岐阜に移され、地名だけが残りました。1870(明治3)年の宿制廃止から時を経て、宿場の面影を残すものが次第になくなりつつある中で、1984(昭和59)年9月に東海線合併30周年・町制施行20周年記念事業の一環として、美江神社境内に「中山道美江寺宿跡」碑が建立されました。その他にも旧宿場内には、「美江寺一里塚跡」碑や「本陣跡」碑などがあります。



歌川広重が描いた「木曾海道六拾九次之内 美江」と同じ場所で撮影してみましょう。

皇女和宮御降嫁ゆかりの地

2 小簾紅園 (市指定史跡)



紅葉の時期には、園内を彩る30本の楓を自当てて写真愛好家が多く来園します。

1861(文久元年)年公武合体のため、仁孝天皇の第8皇女和宮が徳川第14代将軍家茂公に嫁ぐこととなり、中山道を御降嫁されました。呂久川(現在の揖斐川)を御座船でお渡りになる際、色麗しく紅葉している楓を一枝枝に立てられました。それを玉簾の中からご覧になり

おちていく 身と知りながら もみぢ葉の 人なつかしく こがれこそすれと御感慨をお詠みになりました。この御渡船を記念し、歴史ゆかりの呂久の地に記念碑建立の気運が高まり、1929(昭和4)年4月その名もゆかしい「小簾紅園」が完成しました。その後、毎年春と秋の2回、和宮の遺徳をしのび例祭が行われています。1976(昭和51)年10月には、皇女和宮100年祭が秩父宮妃殿下の御来臨を仰ぎ、岐阜県知事を始め多数の御臨席を得て盛大に挙行されました。

～輪中・治水の歴史を感じる～

瑞穂市は、東西を長良川・揖斐川の両大河に挟まれ、市内には犀川などの一級河川が多数流れる水に恵まれた土地です。しかしその反面、長年にわたり水害に悩まされてきました。1749(寛延2)年美濃郡代配下の本田代官となった川崎平右衛門がこの地域の治水事業に尽力し、田畑と農民を水害から救いました。市内にある川崎平右衛門に関する史跡を紹介します。

県内唯一の「たたき工法」の水門

3 牛牧閘門

長良川の支流、五六川の流末に五六閘門または牛牧閘門と呼ばれる樋門(水門)があります。現在の水門は、長良川の逆流による水害から地域を守るため、1907(明治40)年に造られたものです。本田代官となった川崎平右衛門の尽力で1757(宝暦7)年、この地に初めて木材で水門が造られました。その後、1907年までの150年間に4～5回建て替えられ、最終的に「人造石工法」で永久的な水門となりました。この工法は「コンクリート工法」が普及する以前の工法で、わが国の左官の伝統的技法である「たたき」の技術を大規模な土木工事等に改良・応用した工法です。牛牧閘門は岐阜県内に現存する水門の中で唯一の「たたき」構造物です。

川崎平右衛門の遺徳をたたえて

4 川崎平右衛門の供養塔 (市指定史跡)



毎年6月には、遺徳を後世に伝えるための法要が行われています。

美濃郡代配下の本田代官になった川崎平右衛門は、五六川の河口に牛牧閘門を造り水害から村を救いました。平右衛門の訃報に際して、近隣の村の代表が武蔵国まで出かけ、平右衛門愛用の小太刀を形見にもらい受けてこの興禅寺に埋めました。そして、その遺徳をたたえて供養塔が建てられました。

伊勢神宮との深いつながり

5 伊久良河宮跡 (市指定史跡)

全国神社の本宗である伊勢神宮は、皇位の御しるしの八咫の鏡を御神体とし、皇祖天照大神をお祀りしている皇大神宮(内宮)が信仰の中心となっています。垂仁天皇の時代、皇女倭姫命は、天照大神をお祀りするのに最もふさわしい地を求めて、大和から伊賀、近江を経て、美濃の国の伊久良河宮に遷られました。「日本書紀」をはじめ「倭姫命世紀」などには、伊勢神宮の御遷幸のことと共に、伊久良河宮のことも記されています。居倉の天神神社が伊久良河宮の跡で、境内には古代の祭祀遺跡で神の宿る石という意味の御船代石が祀られており、神獣文鏡などの祭祀遺物などが出土しています。

瑞穂市は、岐阜県の南西部、なだらかに広がる濃尾平野の北西に位置する岐阜市と大垣市に挟まれた面積約28km²のまち。市内には18本の一級河川が流れ、輪中と呼ばれる水郷地帯です。市内を東西に国道21号とJR東海道本線が横断し、古くから交通の要所として栄えています。



天然記念物

～全国に誇る 瑞穂市の天然記念物～

富有柿はここから世界に広まった

6 富有柿の母木 (市指定天然記念物)



100年以上の樹齢を重ねた今でも実を付けます。富有柿は、樹齢が増すほどおいしくなると言われています。

富有柿は全国の甘柿の中でも最優秀品種として栽培されています。その名の由来は、居倉村(現在の瑞穂市居倉)にあった在来種、居倉御所(御所柿)の中で、味・色・形状共に優れている柿に着目した居倉の福富才治氏が、この接穂を得て増殖し、新品種として1892(明治25)年に「富有」と命名したのが始まりです。1972(昭和47)年、岐阜県富有柿振興大会の開催を記念して、富有柿の母木の脇に「富有柿発祥の地」の石碑が建立されました。

藤九郎ギンナンも瑞穂市発祥

7 藤九郎ギンナン (県指定天然記念物)

藤九郎ギンナンは、普通のギンナンより大粒で約2倍も重く、殻が薄く表面は滑らかで光沢があり、大変おいしいギンナンです。市内の井上藤九郎氏(1795～1870)が自宅にあった親木から接木して大きくしたことによりこの名前がついています。市内最大の藤九郎ギンナンの木は、西蓮寺敷地内にあります。

きれいな湧水地に棲む絶滅危惧種

8 ハリヨとその生息地 (市指定天然記念物)



市のマン・ホールのふたにもハリヨが描かれています。

湧水などのきれいな水にしか棲まないトゲウオ科の小魚で、滋賀県北東部と岐阜県西南濃地方にのみ分布している希少魚です。形態は、背びれの前に3本、腹びれに1対、尻びれに1本のとげがあるのが特徴で、全長は5～7cm程度です。生息環境としては、湧水や自噴水が水源とし、1年を通して水温が15℃前後の低水温できれいな水が好きです。かつて生息地は広く分布していましたが、急速に生息地を減らし、環境省より絶滅危惧ⅠA類に選定されています。

お祭り

～伝統が息づく 祭りの数々～

狸々山車が中山道を練り歩く

9 美江寺観世音のお蚕祭り



狸々ばやしを奏でながら旧中山道を練り歩きます。

お蚕祭りは、美江寺観世音の祭事として行われていた五穀豊穡祈願が、明治中期より養蚕が盛んになったことにより変移したものです。美江寺自治会(狸々ばやし保存会)により、赤ら顔の面の翁を祀った「狸々山車」の上で「狸々ばやし」を奉納します。祭りの終盤には、餅まき等が行われ盛り上がりを見せています。

皇女和宮の遺徳を偲ぶ

10 和宮の例祭 (春・秋)

皇女和宮が中山道を通り江戸へ御降嫁の折、呂久の渡しを渡船されたことを記念して、その遺徳を偲び、毎年例祭が春と秋に行われています。春(小祭)は神式、秋(大祭)には仏式の祭祀が営まれ、献灯、和宮音頭等が奉納されます。

D51の模型も登場

11 汽車まつり

1888(明治21)年に国鉄東海道線が通り、1906(明治39)年8月1日には穂積駅ができました。これを祝い、1956(昭和31)年から「汽車まつり」が始まりました。祭り会場では、ステージイベントや屋台、D51機関車模型の展示が行われます。

瑞穂市の「珍」名所

12 「マンボ」をご存知ですか?

瑞穂市では、土盛りされ高架されたJR東海道本線の線路が市内を東西に横断しています。高架の下を行き来するための道路が通称「マンボ」です。レンガ積みで作られており、ノスタルジックな雰囲気があります。

花咲く道沿いを歩こう

瑞穂の宝もの

13 中川の桜

中川沿いに約1kmに渡る桜並木。堤外地にある中川河川公園からは桜を見上げることができます。



平和堂穂積店より徒歩 2分

15 忠太橋の一本桜

幹の周りが約5mもある一本桜です。樹高も約8mあり、見ごたえ十分です。



宝江より徒歩 2分

14 美江寺宿の桜

美江寺宿の堤防沿いに約900mに渡る桜並木。毎年桜の開花時期に合わせ桜まつりが開催されます。



美江寺より徒歩 1分

16 糸貫川のアジサイ

糸貫川沿いに約1.5kmに渡り植えられており、梅雨の時期には色鮮やかな花を咲かせます。



穂積北中学校前より徒歩 4分

瑞穂市の特産品

瑞穂市が全国に誇る自慢の特産品

17 富有柿

瑞穂市発祥の「富有柿」。全国の甘柿の中でも最優秀品種として有名です。



19 鮎

清流長良川と揖斐川に挟まれた瑞穂市の冷たく豊かな地下水で育てた鮎です。鮎の加工品も様々なものが生産されています。



18 バラ

瑞穂市は県下でも屈指の豊富な花の産地。中でも色鮮やかなバラは人気があります。



20 サボテン

瑞穂市には、サボテンの栽培面積が世界一の農園があります。ミニサボテンや多肉植物が栽培されています。



お問合せ

瑞穂市役所(県南庁舎)
商工農政観光課・生涯学習課
〒501-0392 岐阜県瑞穂市宮田300番地2
電話：058-327-2103(商工農政観光課)
2117(生涯学習課)
ホームページ http://www.city.mizuho.lg.jp

瑞穂市マスコットキャラクター
かぎりん

21 十一面観世音菩薩立像(別府観音)

(県指定重要文化財)



通称「別府観音」とよばれるこの観音像は、谷汲山の観音像と同伴等身の像で、古来より兄弟の霊像であると伝えられています。

像高182.4cm、台座の高さ9.0cmの桧材一木造彫眼で、衣文の彫り、裳の折り返し、裾など穏やかで丸みをおび、温和で均整のとれた像です。藤原様式の影響を受けた素朴な木造で平安時代末期の作と推定されます。

昔は別府の唯願寺(1873(明治6)年廃寺)に安置されていたが、現在は別府観音堂に安置され、次の年間行事の際に開示され、見ることができます。

別府観音堂 ご開帳時間	
星供養・分会	2月 3日 午前 8時～午後 5時
千日詣り	8月10日 午前 8時～午後 7時
年越し法要	12月31日 午後11時～午前 1時
縁日	毎月18日 午前 8時～午前11時

22 木造釈迦如来立像

(県指定重要文化財)

この像は、浄土宗金戒光明寺の末寺、即心院の本尊です。1903(明治36)年、呂久の尼僧の念仏道場清涼庵の妙光尼が、当時無住となっていた京都朱雀野の即心院を同院の過去帳とともにこの地に移して、遷座しました。

この像は、京都市右京区嵯峨釈迦堂藤木町の「清涼寺」の本尊釈迦如来像を模刻したもので、特別に「清涼寺式釈迦如来像」といわれています。像高52cm、38cmの蓮華座上の立像です。

また、像内の納入文書によると、「1260(文応元年)年5月14日に大和国菩提山寺の子院の範永が施主となって、仏師寛円によって造られた」とあります。全体的に現状態は良く、截金文様もよく残り、小像ながら優品です。像内文書の存在により造額時期・施主・仏師が分かり、史料としても重要なものです。

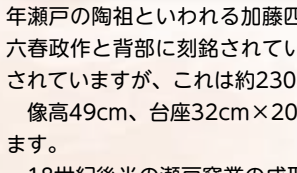
23 木造聖観音立像

(市指定有形文化財)

林香寺はもと香林院と号し、安八郡加納(現神戸町加納)にあり、法相宗に属し聖武天皇の勅願により行基が開創したと伝えられています。1688(貞享5)年浄土宗寺院として中宮に移転の際、法相宗当時の本尊は木造薬師如来で、夢告により旧地に留まり、新たに本尊として祀られた阿弥陀如来と本像聖観音、その他の諸尊像を勧進しました。本像は、木造寄木造、蓮華座上の立像で像高50cm。顔は豊頬ですが、ひいでた眉と引き締まった目鼻立ちによって厳しさを感じさせます。糸帛・裳・天衣の彫り方から豊富な体軀を思わせ、宝冠・瓔珞は金銅製。右手に施無畏印、左手に金色朱闍蓮華を持っています。行基の作と伝えられていますが、室町期の造額と考えられています。

24 陶磁のこま犬

(市指定有形文化財：工芸品)



美江神社には古くから前殿入口両側に陶磁製のこま犬が奉納安置されていました。一度盗難にありましたが、2年後に見つかり、返納されました。このこま犬は陶磁製で、1798(寛政10)年瀬戸の陶祖といわれる加藤四郎春慶作を模して作られたもので、加藤勘六春政作と背部に刻銘されています。濃尾震災で破損したと思われ、補修されていますが、これは約230年前の御深井焼きと思われる。像高49cm、台座32cm×20cmで陶磁の狛犬としては大きなものといえます。

18世紀後半の瀬戸窯業の成形、釉薬技術などを知る上で極めて貴重な史料といえます。18世紀は上・下かけ分けの釉法が多く認められる時期であり、愛知県陶磁美術館にも小型ではありますが、この手法の狛犬(1794(寛政6)年銘)が所蔵されています。

25 美江寺千手観音堂鰐口

(市指定有形文化財：工芸品)

美江寺千手観音堂は、1833(天保4)年7月20日に建立されました。この堂に奉納された鰐口には、「中仙道美江寺宿観音堂 江戸御蔵前 施主志中 天保十二年辛丑五月吉日江戸大門通鑄工伊勢屋彦助」と彫ってあります。

1841(天保12)年5月に製作され、上部に懸垂用の耳があり、中央に撞座を鑄出しそれを回って三重の圏縁があり、青銅製で直径50cm、重さが15kgあります。鰐口とは仏堂の正面軒先に吊り下げられる仏具の一種で、神社の社殿で使われることもあります。金口、金鼓とも呼ばれ、金属製梵音具の一種です。

26 別府細工

(市指定有形文化財：工芸品)



「別府細工」は、今から二百年十年前の江戸時代後期の一時期、別府村(現 瑞穂市別府)にいた広瀬清八・茂重郎親子が二代にわたって製作した螺型鋳物細工の一種です。

大きいものは70cmほどの燭台から、小さいものは3~4cmほどの根付に至る青銅製の什物が幅広く作られました。また、その製造技法から「一品製作」や「滑らかな肌合い」という特徴があり、それ以外にも、意匠に特徴が見られ、すばらしい工芸品といえます。

しかし、これはもともと美術品ではなく日常生活に用いる什物として製作されただけに、その職人についての資料は香炉に刻まれた銘文や民家に残された納品書、菩提寺の過去帳や墓石等に僅かに残るのみです。

現在、瑞穂市図書館本館2階で別府細工「燭台」が常設展示されています。また、市内の街灯にこれを模した意匠が使われています。

27 重里めぐみ地藏菩薩坐像

(市指定有形文化財：彫刻)

この地藏菩薩は、1722(享保7)年に作られたもので、蓮華の上に座って合掌している大きな像です。

この地藏は、武儀郡関村の有志の人々が五穀豊饒と安民息災をお祈りするために、大坂松屋町の石大工、石田仁兵衛に尊像の彫刻を依頼し、建立されたものです。

大坂で完成後、水路を使い大垣で陸揚げして大八車に乗せて関村に向う途中、十五条(現 瑞穂市重里)で仮泊しました。その夜、搬送に従った人々に「此の地に留まる」との夢告があったので、一字を建立して安置したと伝えられています。像高92cm、台座は四連高153cm、推定1,500kgです。以来、当地方の信仰を集め、子授け、子育て、厄除け等に靈驗あらたかで、いつとは無く「めぐみ地藏」と呼ばれるようになりました。現在も毎年7月24日には、地藏祭りが盛大に行われています。

28 千鉢寺と千鉢仏

(市指定有形文化財：彫刻)



千鉢寺は、浄土宗西山派に属し、海津市の円満寺の末寺です。千鉢寺には高さ12~23cmの桧材一木造の阿弥陀如来立像が1,000体8段に並べまつられています。仏像は、千鉢仏と呼ばれ、寺の名の由来となっています。千鉢仏は、禅僧、自然居士の作で、仏像の姿・形から鎌倉時代後期~南北朝時代のもものと伝えられています。自然居士は、和泉の国(大阪府)に生まれ、京都の東福寺大明国師のもとで修行しましたが、奇行遊行僧であったと伝えられています。遊行の途中、自然居士は美江寺の地にとどまり千鉢仏を造立したといわれています。なお、美江寺で没したと伝えられ、自然居士の墓が美江寺に残されています。

29 大日如来坐像

(市指定有形文化財：彫刻)

この像は円空の作で、桧材で像高30cm、一刀彫りの独特の木彫仏です。

円空は、1632(寛永9)年に現在の羽島市上中町の農家に生まれ、21才のとき出家し、尾張の高田寺において密教を学び、のちに白山に籠って修行し、12万体の造仏により民衆救済を発願しました。円空は、吉野・大峯・熊野に登ったの苦行の後、岐阜県内はもちろん、遠くは北海道・東北その他各地を遊行、たずさえた鋭一丁で一刀彫りの独特の木彫仏を造り続けました。彼の作品は数が極めて多いというだけでなく、職業仏師の形式化した作品には見られない、大胆で素朴な美しさがあると高く評価されました。

瑞穂市内の指定文化財一覧

種別等	種目	名称	所在地	指定区分	指定区分
有形文化財	建造物	天神神社本殿	瑞穂市居倉	市指定	有
有形文化財	彫刻	聖観世音菩薩像	瑞穂市十九条	市指定	有
有形文化財	彫刻	重里めぐみ地藏菩薩坐像	瑞穂市重里	市指定	有
有形文化財	彫刻	木造弘法大師坐像	瑞穂市横屋	市指定	無
有形文化財	彫刻	木造聖観音立像及び千鉢仏	瑞穂市中宮	市指定	無
有形文化財	彫刻	薬師如来坐像	瑞穂市田之上	市指定	無
有形文化財	彫刻	千鉢仏	瑞穂市田之上	市指定	無
有形文化財	彫刻	石造薬師如来坐像	瑞穂市宮田	市指定	有
有形文化財	彫刻	木造薬師如来立像	瑞穂市中宮	市指定	無
有形文化財	彫刻	円空彫刻像・大日如来坐像	瑞穂市中宮	市指定	無
有形文化財	彫刻	石造観世音菩薩立像及び同阿弥陀佛立像	瑞穂市十七条	市指定	有
有形文化財	彫刻	美江寺千手観音像	瑞穂市美江寺	市指定	有
有形文化財	工芸品	陶磁のこま犬	瑞穂市美江寺	市指定	有
有形文化財	工芸品	美江寺千手観音堂鰐口	瑞穂市美江寺	市指定	有
有形文化財	工芸品	別府細工・18点	瑞穂市別府	市指定	無
有形文化財	工芸品	別府細工(梯子燭台)	瑞穂市宮田	市指定	無
有形文化財	書跡	観賢上人筆十字名号	瑞穂市重里	市指定	無
有形文化財	書跡	蓮如上人筆六字名号	瑞穂市重里	市指定	無
有形文化財	書跡	東伏見宮妃周子殿下筆「和宮歌碑文」拓本	瑞穂市宮田	市指定	無
有形文化財	書跡	蓮如上人筆六字名号	瑞穂市七崎	市指定	無
有形文化財	書跡	東如上人筆九字名号	瑞穂市七崎	市指定	無
有形文化財	古文書	教如上人書状	瑞穂市七条	市指定	無
有形文化財	古文書	川崎平右衛門書簡	瑞穂市十九条	市指定	無
有形文化財	歴史資料	山本友左坊遺品(半ざい)	瑞穂市重里	市指定	無
有形文化財	歴史資料	山本友左坊遺品(屏風)	瑞穂市美江寺	市指定	無
有形文化財	歴史資料	山本友左坊遺品(挂掛)	瑞穂市重里	市指定	無
有形文化財	歴史資料	和宮親王内親王東下の際の道中履物	瑞穂市宮田	市指定	無
民俗文化財	無形民俗文化財	武蔵家の水屋	瑞穂市横屋	市指定	無
民俗文化財	無形民俗文化財	美江寺観世音のお蚤祭り	瑞穂市美江寺	市指定	開示日有
民俗文化財	無形民俗文化財	雅楽 宮田の五音社	瑞穂市宮田	市指定	開示時期有
記念物	史跡	伊久良河宮跡	瑞穂市居倉	市指定	有
記念物	史跡	美江寺城跡	瑞穂市美江寺	市指定	有
記念物	史跡	山本友左坊の墓	瑞穂市美江寺	市指定	有
記念物	史跡	十七条城跡	瑞穂市十七条	市指定	指標のみ
記念物	史跡	杭瀬学校跡	瑞穂市呂久	市指定	指標のみ
記念物	史跡	旗本青木氏陣屋跡	瑞穂市居倉	市指定	指標のみ
記念物	史跡	自然居士の墓	瑞穂市美江寺	市指定	指標のみ
記念物	史跡	美江寺宿本陣跡	瑞穂市美江寺	市指定	指標のみ
記念物	史跡	瑞光寺句碑群	瑞穂市美江寺	市指定	有
記念物	史跡	菱野川用水竣工記念石碑	瑞穂市大月	市指定	有
記念物	史跡	美江寺一里塚跡	瑞穂市美江寺	市指定	指標のみ
記念物	史跡	土地改良記念公園	瑞穂市重里	市指定	有
記念物	史跡	貫学学校跡	瑞穂市居倉	市指定	指標のみ
記念物	史跡	開成学校跡	瑞穂市美江寺	市指定	指標のみ
記念物	史跡	月盛学校跡	瑞穂市十七条	市指定	指標のみ
記念物	史跡	顕名学校跡	瑞穂市横屋	市指定	指標のみ
記念物	史跡	宝蔵治水美濃義士内藤十左衛門生誕の地	瑞穂市重里	市指定	指標のみ
記念物	史跡	名和靖 生誕の地	瑞穂市重里	市指定	指標のみ
記念物	史跡	小瀬紅園	瑞穂市呂久	市指定	有
記念物	史跡	木食禪閣の塔	瑞穂市重里	市指定	有
記念物	史跡	川崎平右衛門供養塔	瑞穂市十九条	市指定	有
記念物	史跡	西堀神社顕彰碑	瑞穂市生津外宮前町	市指定	有
記念物	天然記念物	秋葉神社の大イチョウ	瑞穂市穂積	市指定	有
記念物	天然記念物	富有神の母木	瑞穂市居倉	市指定	有
記念物	天然記念物	ハリヨとその生息地	瑞穂市十七条、十八条	市指定	無
記念物	天然記念物	白鳥神社のイチョウ	瑞穂市呂久	市指定	有
記念物	天然記念物	数泉寺のマキ	瑞穂市田之上	市指定	有
記念物	天然記念物	居倉天神神社のクス	瑞穂市居倉	市指定	有
記念物	天然記念物	熊野神社のモチ	瑞穂市十七条	市指定	有
記念物	天然記念物	念徳寺のホダジユ	瑞穂市居倉	市指定	有
有形文化財	彫刻	十一面観世音菩薩立像	瑞穂市別府	県指定	開示時
有形文化財	彫刻	木造釈迦如来立像	瑞穂市呂久	県指定	無
記念物	天然記念物	藤九郎ギンナン	瑞穂市只越	県指定	有

